

# 3月の 活動トピックス



厚木市議会議員  
高橋 知己

## 新年度より

新緑がまぶしい季節となりました。新年度を迎え、新たな一歩を踏み出された方も多いのではないのでしょうか。

この4月1日より市の公式LINEが多言語化(6か国語)対応になりました。本件は、本市に働く外国籍の方からのお声をきっかけに、議会一般質問などを通じて市へ対応を促してきたものです。

市のホームページ(HP)は、何年も前から自動翻訳により多言語への対応が図られていましたが、今やHP以上の情報発信ツールである公式LINEは日本語のみの対応となっただけでした。

災害発生時はもとより、ゴミ出しルールなど日常生活でも、広くご活用いただければと思います。

# 厚木市議会議員

# 高橋ともみ



## 活動報告 第46号 発行2026年 4月

### 新年度です。市政トピックス、議会一般質問等、活動報告お届けします

新緑がまぶしい季節となりました。新年度を迎え、新たな一歩を踏み出された方も多いのではないのでしょうか。

さて昨年12月議会で改正を議決した「厚木市客引き行為等防止条例」が、この4月より施行となりました。これは、客引き行為等を禁止する業種に、居酒屋やカラオケ店なども含めることとしたものです。近年、客引きが道の真ん中でたむろしている、立ちはだかるなど、本厚木駅周辺を安心して歩けないといったお声をいただいていた。改善が進むことを期待しつ

つ、この条例改正の実効性を引き続き確認していきます。

また、これまで多くのお声を頂戴していることの一つに、自転車の交通マナーがあります。報道等によりご承知と思いますが、4月から自転車にも交通反則通告制度（いわゆる青切符）が適用になりました。自転車も乗ればクルマの仲間入りです。罰則(罰金)があるからではなく、ルールを守り、交通事故の被害者にも加害者にもならないように、安全な自転車利用をお願いいたします。



自転車も交通ルールを守って安全に！



#### ～12月 2025年中の交通死亡事故について

昨年1年間に市内で590件の交通事故が発生し、7人が死亡、660人が負傷しました。図1に示すように交通事故件数は減少傾向にあります。近年にはない7名の方が亡くなっています。死亡7件のうち3件は歩行者とクルマ、2件はバイクとクルマで亡くなったのは交通弱者側です。また2件はバイク乗車中の単独事故でした。また事故件数全体のうち自転車が関係する事故は148件(全体の25.1%)となっており、自転車での死亡事故がいつ発生してもおかしくありません。どうぞ皆さま、ご家族含めての交通安全をお願いいたします。



図1：市内交通事故件数と死者数の推移

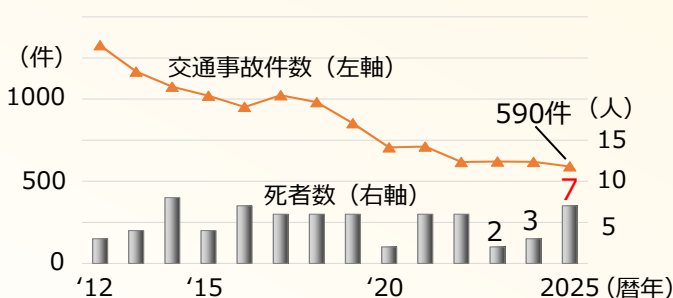


図2：死亡事故7件の内容

	時間帯	事故種別	年代性別
1	深夜	歩行者×乗用車	28歳男性
2	深夜	歩行者×乗用車	81歳男性
3	夕方	歩行者×トラック	84歳女性
4	夕方	バイク×軽貨物	28歳男性
5	深夜	バイク×トラック	41歳男性
6	深夜	バイク単独	48歳男性
7	夕方	バイク単独	69歳男性

**4月～ 市公式LINEが多言語化(6か国語※)対応に！**



本件は、本市に働く外国籍市民の方からのお声をきっかけに、議会一般質問などを通じて市へ対応を促してきたものです。本市の外国籍市民の人数は既に1万人を超え、人口比率で5%に迫る勢いです。市のホームページ（HP）は、何年も前から自動翻訳により多言語(8か国語)への対応が図られていましたが、今やHP以上の情報発信ツールである公式LINEは日本語のみの対応となつたままでした。災害発生時はもとより、ゴミ出しルールなど日常生活でも、広くご活用いただければと思います。

※6か国語：日本語、英語、ベトナム語、韓国語、中国繁体語、中国简体語



**新年度予算トピックス：厚木市の助成制度について**

市では様々な助成制度を設けています。知らないともったいないです。ぜひご活用ください。制度の詳細は、市のホームページ等でご確認をお願いします。

**◆高齢者外出支援事業 補助金**

本件、諸先輩方から大変多くのお問い合わせをいただきました。“かなちゃん手形”から変更となった“かなちゃんバス”への購入助成ですが、助成額を拡大し令和8年度からは、高齢者タクシー事業での補助額と同等の2万円を市で助成することとなりました。

対象：市内在住の満70歳以上の方  
概要：図3参照

図3：

	バス	タクシー
令和8年度	かなちゃんバス購入助成額 20,000円（年間バス購入時）	高齢者タクシー利用券を交付 400円チケット×48枚 （＝19,200円相当） <b>継続！</b>
令和7年度	かなちゃん手形購入助成額 7,800円（年間バス購入時）	



**◆勤労者奨学金返済支援事業**

対象：市内在住かつ市内企業に勤務、卒業後5年以内で奨学金を返済している方  
概要：年間の奨学金返済額の半分（上限12万円）を最長7年間補助

フルに使えば、84万円！



**◆若年世帯住宅取得支援事業 補助金**

高い評価をいただいている事業ですが、本年度より対象者を40歳未満→**50歳未満へ拡大**しました！  
対象：市内に住宅を購入する、中学生以下の子がいる50歳未満の世帯、今後3年以上居住  
概要：内容により最大40万円を補助

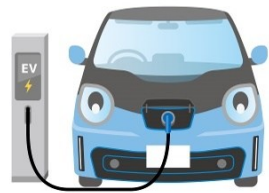


**◆親元近居・同居住宅取得等 補助金**

対象：市内に親世帯が居住しており、現在市外に在住の子世帯が、住宅の購入により転入または同居のために家を増改築する場合  
概要：内容により最大100万円を補助

**◆EV関連補助金**

本市独自のEV関連補助金のメニューです。国の補助金などと併せて活用ください。図4参照



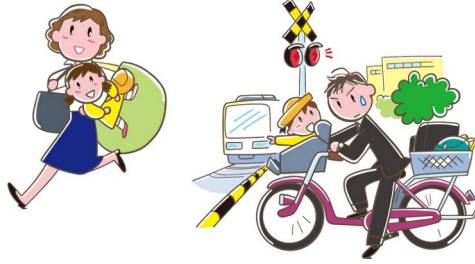
※例えばマンションに充電器を設置する場合、国の補助金は機器費用の50%、工事費の100%が補助対象です。本市の設置補助(最大150万円)と合わせれば、自己負担を大きく抑えて設置も可能です。マンションの管理組合等で検討されてはでしょうか。

図4:EV関連補助金一覧 ※詳細は市HPでご確認ください

	車両購入	充電器の設置
企業向け	購入費用の2/3 上限額は下記（製造業/製造業以外）	国の補助金を除く部分の2/3 上限額は下記 <b>100万円/50万円</b>
	普通 <b>50万円/25万円</b>	
	軽 <b>30万円/15万円</b>	
個人向け	普通車 <b>10万円</b> 軽 <b>5万円</b> ※加えて、自宅で再エネを使用、もしくは太陽光発電ありの場合、 <b>+10万円</b> を加算	戸建 V2H：5万円 集合住宅 国の補助金を除く部分の4/5 上限額は下記 <b>150万円</b>

一般質問：子育てと仕事の両立ができる環境の実現について

本市では子育て・教育を重点施策と位置づけ、その充実に継続的に取り組んできました。市民の皆様からも高い評価をいただいています。しかしながら



少子化が急速に進み、また自治体間競争も激しさを増すなかで、企業が多く立地し、勤労者が多いという特徴を持つ本市が目指すべきは、“単に子育て施策が充実したまち”ではなく、“子育てに仕事に忙しい働く親の毎日に寄り添い支えるまち・子育てと仕事の両立できるまち”ではないかと考えています。同時にこうした明確な都市ブランドの確立を進め、他自治体との差別化を図ることが重要です。一般質問では、共働き子育てしやすい街ランキング(図5)上位の自治体の調査を行い、本市が後塵を拝している事項、かつ現役の共働き子育て世代の意見をもとに、市の考えを質しました(図6参照)。以下は概要です。

①：国策として3歳児以降は既に保育の無償化が行われています。その一方、0～2歳期は保育料負担も重く、これが出生や就労継続の意思決定にも影響を及ぼすとの指摘もあります。独自に無償化を行う自治体も増えており、本市の考えを質しました。市の答弁は、市としても無償化の要望があること、先行する自治体があることも承知はしているが、実施には年間約5億円の財源が必要なこと、家庭で保育をしている方との公平性など、引き続き調査研究が必要との考えが示されました。

③：令和7年度には一部学区で放課後児童クラブの待機が生じていました。対策の結果、特に必要性の高い小学3年生以下の児童の待機は、解消される見通しとなりました。

④⑤：市立小中学校への欠席の連絡は24時間オンラインで可能となっていますが、放課後児童クラブへは、電話連絡が必要です。先進自治体では、クラブへの欠席連絡だけでなく、入退出履歴の確認や、夏休み期間中の昼食用の弁当の注文・支払いまでオンラインで可能にしています。



児童クラブへは電話で連絡

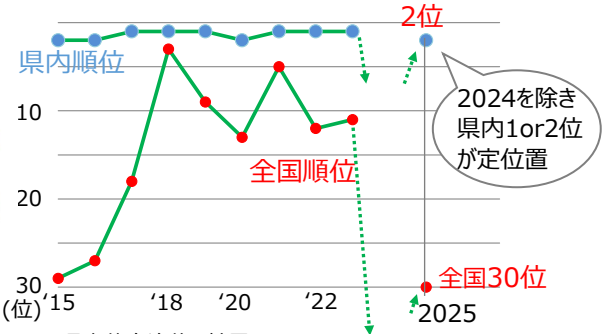
⑥：利用者に好評なアミューあつぎの“託児室わたくも”では、受付で書類2枚の記入が必要で、試しに記入してみると6分以上要しました。この、子どもを待たせながらの毎度の手間の改善を提案しています。



子育て世代のスマホ普及率はほぼ100%です。この利用者層を踏まえれば、子育て分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)の利活用は急務です。仕事に子育てに多忙な世代に、

図5：共働き子育てしやすい街ランキング 厚木市のランキング推移

日経xwomanと日本経済新聞 調査



2025 県内他自治体の結果  
・横浜市が県内1位、全国23位  
・鎌倉市、平塚市が、同率で県内3位、全国50位



図6：一般質問での質問・提案内容抜粋

	内容
①	本市も独自に、0～2歳児の保育無償化をする考えは。
②	朝の子どもの安全な居場所を確保する考えは。(保護者の出勤時刻との関係で、小学校の開門時刻以前から校門で待つ児童について、本市の現状は。)
③	放課後児童クラブの待機児童数の見通しと、待機ゼロに向けた取り組みは。
④	放課後児童クラブでは、夏休み期間中は家庭から弁当の持参が必要となっているが、事前予約制でクラブへ弁当が配達されるようにする考えは。
⑤	児童の欠席連絡について、放課後児童クラブへは電話が必要となっているが、これをオンライン化する考えは。
⑥	アミューあつぎにある託児室“わたくも”では利用時に書類へ記入が必要だが、これを電子化するなど、利用者の利便性を高める考えは。
⑦	本市には充実した子育て諸施策があるが、その諸施策を利用するにあたって、DXの活用は極めて限定的となっている。DXを活用して利用者の利便性を高める考えは。
⑧	厚木版子育てポータル※を構築する考えは。 ※子育て関連情報や行政手続き、相談窓口、イベント情報などを一元的に提供するウェブサイト(またはアプリ)のこと

小学校へはスマホで連絡



託児室“わたくも”利用時には、書類2枚を毎回、記入が必要です。マイナカードや、子育てポータルからの、自動入力などで利便性の向上を!

充実した子育てと仕事の両立施策をあまねく届け、便利に利用いただける環境整備を働きかけています。

### 令和8年度 特別会計&一般会計予算について

#### ◆下水道事業特別会計予算が赤字予算に！

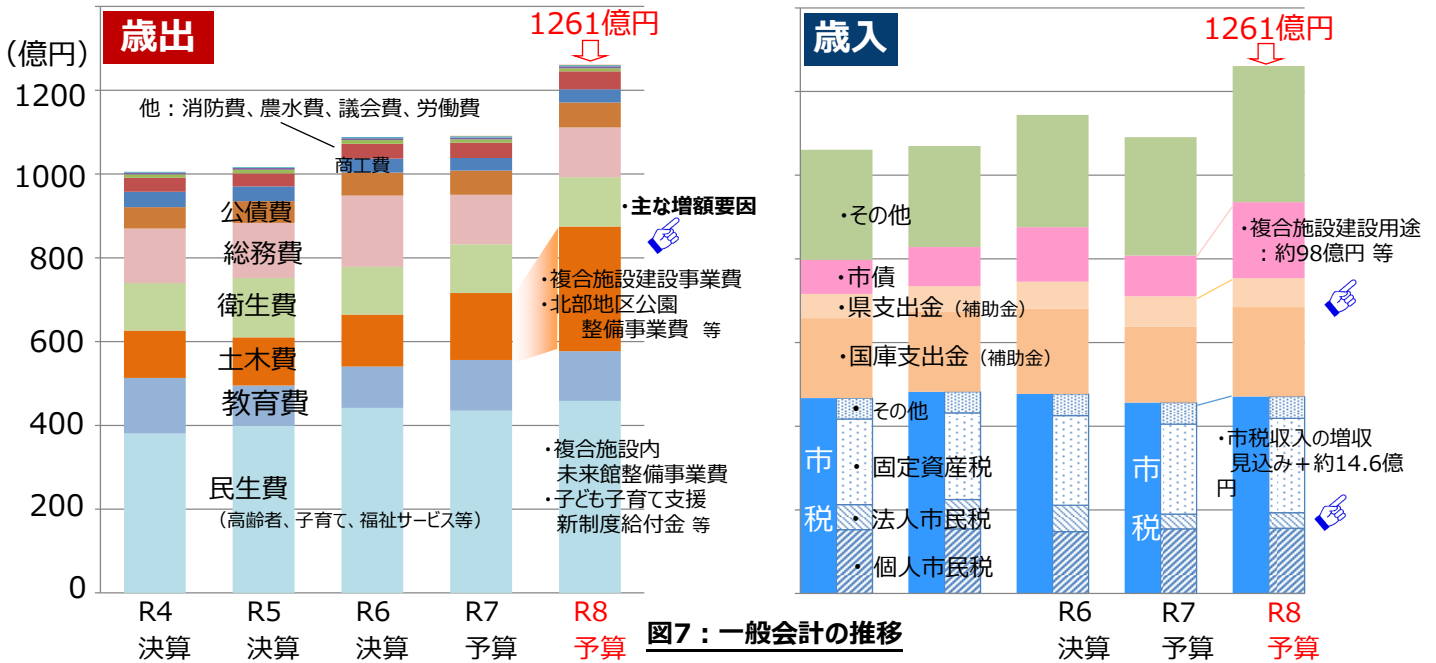


上水道は県営ですが、下水道は市で管理運営をしています。本市の下水道料金はここ十数年間値上げは行われていないので歳入は例年並みであるのに対し、歳出では県による下水処理負担金の値上げ、老朽化、資材や人件費の高騰などにより、差し引き約4億7千万円の赤字予算となりました。当面の赤字分は特別会計内の利益剰余金で補填可能ですが、今後、歳出の一層の適正化が大前提ではありますが、利用料の値上げもあり得ることと考えます。しっかり精査していきます。

#### ◆一般会計予算について

本年度の当初予算額は、令和7年度に対し約170億円の増となる約1261億円。当初予算として過去最高額を更新しました。歳出には令和10年1月オープンに向けて整備が進む、

複合施設の建築工事費の本年度分として約177億円などが含まれるため、予算額が大きくなっています。歳入では、複合施設建築用途にあてるため、市債の発行額が増大しています。一方で好調な企業業績を受け市税収入で約14.6億円の増を見込んでいます。また小学校給食費の無償化のための財政措置が、国策にも関わらず地方交付税不交付団体の本市には、措置されない懸念がありました。この課題については市長自らが国に陳情に行ったり、市議会からも国に意見書を提出したことに加えて、各方面への働きかけが功を奏し、約5.4億円が県を通じ国から措置されることとなりました。議会を含め、自ら汗をかいて財源を確保することができたこと、ご報告します。引き続きお預かりした税金の適切な使用に取り組んでいきます。 - 以上 -



## ご意見

お待ちしております。



市政に関するご意見・ご要望、この活動報告に対するご意見。皆さんの身近な問題・課題などなど、ぜひ聞かせてください。皆さんの声が原点、ご連絡お待ちしております

ホームページ、Facebookから、高橋ともみの「いま」を配信中



ホームページ：

<http://takahashi-tomomi.info>

高橋ともみ 厚木

検索



Facebook： 友達申請お待ちしております

<https://www.facebook.com/tomomi.takahashi.atsugi>

※ホームページからFacebookにリンクできます。

〒243-0192 厚木市岡津古久560-2

日産自動車労働組合 NTC支部内

TEL046-247-0883 Fax046-247-6810

e-mail： [t-takahashi@nissan-wu.jp](mailto:t-takahashi@nissan-wu.jp)

↑：以前とはアドレスが変わっています



e-mail



HP

